

第5回松田町文化センター複合拠点化検討協議会
議事要旨

1. 日 時 平成30年3月23日(水) 10時～12時
2. 会 場 松田町役場 4階 4AB会議室
3. 出席者 委 員：古舘信生氏(会長)、吉田恵美子氏、木口まり子氏、武尾哲治氏、
関野敏樹氏、香川義美氏(副会長)、村野幸男氏、今泉好夫氏、
堀真記氏、遠藤洋一氏
事務局：政策推進課(吉田参事、柳澤、小野)
教育課(川崎)
ランドブレイン株式会社(田中、山内)

※以下「・」：委員意見、「→」：事務局回答

1. 開会
 - ・吉田参事
2. 議題
 - (1) 第1～4回協議会の振り返り
 - ・資料2、3について政策推進課より説明
 - これまでの協議会について振り返ると、第1回では、本事業の概要を確認し、現地視察を行った。第2回では、拠点施設整備後の活用方法について議論し、また、近隣市町の施設について勉強した。第3回では、施設のコンセプトをつくろうとし、また、活用方策について議論を重ねた。第4回では、施設のコンセプトに基づいて、活用方策や運営手法について整理し、議論した。
 - 第4回協議会について、施設の活用方策(案)の検討として、町の歴史文化を残す展示物のある場所の設置、町内にある外国語サークルとの連携、ホール内での飲食は良くない等の意見を頂いた。運営手法については、町直営や民間委託等の4つのケースをご提示し、委員からご意見を頂き、今後の町の方向性の参考にさせて頂いた。
 - 平成30年度の町の予算が3月議会で決まった。本事業についても予算が認められ、3階の設計および工事、また、オープニングイベントの実施を予定している。施設の運営については、民間委託の予算は確保していない状況であり、平成30年度は直営で進める。
 - (2) 施設見学
 - ・拠点施設整備の状況について、施設見学を行った。
 - 舞台、クライミングウォール、更衣室等の3つに分けて工事を行い、工事は8割程度終わっている。3月29日の納品日に合わせて工事完了予定である。
 - 公民館施設の使用料について、登録団体に対しても、施設の有料化を10月からスタートする。
 - リードウォールについて、管理者を配置し、定員6名で9時～16時の対応で月2回程度実施する。また、使用料について、1時間あたり大人2,000円、小人1,000円とし、町外利用は利用料を倍に設定している。

- ボルダリングウォールについて、9時～21時の対応で定員15名としている。また、使用料について、町内利用は、平日は1時間あたり大人700円、小人350円、休日は大人1,000円、小人500円とし、町外利用は金額を倍に設定している。
- トレーニングルームについて、9時～21時の対応で定員5名としている。使用料について、町内利用1時間あたり100円とし、町外利用は金額を倍に設定している。

(3) 松田町民文化センター複合拠点施設化に向けた活用方策等について

- ・資料4について政策推進課、ランドブレインより説明
 - 「松田町民文化センター複合拠点施設化に向けた活用方策（案）」について、これまでの議論をまとめつつ、委員からのご意見を受けて修正を行った。活用方策（案）に記載されている内容は、そのまま実施するものではなく、今後の活用に生かす参考としてまとめている。
 - 運営手法の検討について、「①町民利用を促進すること」「②施設使用料などの収入を増やすこと」「③魅力あるイベント・興業の開催など、利用を促進すること」「④イベント・興業の開催に対して、民間のノウハウを取り入れること」「⑤維持管理に係る支出を抑えること」の5つの要素で運営手法のパターンを評価し、今後の展開としては、直営で施設運営をすすめながら、民間ノウハウを活用した運営手法の展開を見据えることとする。

<ご意見、質問など>

- ・活用方策について、「未病改善」「町民利用の促進」というキーワードを盛り込んで頂いて良いと思う。一方で、公民館の利用が減少していない中、今後、さらに町民利用が促進されるものなのか不明慮な点もある。
 - 町民のための拠点施設として、町民がより利用しやすい場を目指したい。
- ・活用方策について、これまでの意見をよくまとめて貰ったと思う。運営について、まずは直営で進める事にするにあたり、この重要な平成30年度をどのように進めて行くのか意気込みを教えて頂きたい。
 - 今後の進め方について、今回の委員からのご意見を通じて、まず町としての姿勢を決め、その方針に基づいて平成30年度進めて行きたい。
- ・運営方法について、最終的には「クライミングウォール部分を民間に委託して対応する」というケース3の方法になるかと考えられる。
 - ケース3の展開も見据え、平成30年度進めて行きたい。
- ・複合拠点施設化に向けて、新たな機能やマーケティングについて整理するために、4P（プロダクト、プレイス、プロモーション、プライス）という考え方が重要である。特に施設のプロモーションに力入れて頂きたい。
- ・複合拠点施設化に向けたプロモーションについて、本施設がどこを目指していくのかを町民と共有しておくこと、また、何をもって賑わいをつくっていくか議論する場が必要である。また、スポーツクライミングやそれ以外の機能についても様々な活用方法があると思うため併せて議論していきたい。
 - 平成30年度賑わいづくりに向けた取り組みの検討を進め、複合拠点施設の可能性を実現していきたい。
- ・施設の国際交流部分について、実施する運営主体はどのようになるのか。作品展示やイベント等継続的に進めていければ良いがどこが担っていくのか、誰がイベントを仕切っていくのか教えて頂きたい。
 - 平成30年度の施設の運営については教育課が担当する。国際交流部分についてはどのように使うかによって、運営の仕方が複数考えられるため、今後検討していきたい。

- 国際交流事業については、これまで企画に協力頂きながらイベントを実施しているので、町と調整しながら進めて行けると良いと考える。
- ・国際交流事業が浸透する中で、中高生も参加したいという声も頂いている。国際交流ボランティアとしても、中高生と一緒にできるイベントを松田町民文化センター複合拠点施設で実施したい。
- ・運営手法について、民間ノウハウを取り入れた運営手法の評価が高いが、町と民間が同じ熱量を持って取り組まないと上手くいかないと考える。
 - 民間委託の可能性の再検討の段階で、本施設のコンセプトを理解して頂くよう民間委託の条件整理を詰めていきたい。
- ・活用方策について、内容は賛成である。また、実際の利用にあたって、どこで受付すれば良いか不明慮なため、受付窓口が一番課題かと思われる。受付方法について工夫して頂きたい。
 - 町民が利用し易いよう、開かれた窓口として工夫していきたい。
- ・文化センターホールの料金見直しについて、使い方によって金額を変えてはどうか。使用料についてはきめ細かく検討して頂きたい。
 - 近隣施設の状況も踏まえ上手に設定したい。
- ・賑わいづくりに向けた取り組みの検討事項について、地元町民で利用促進を図るための検討をする協議会の立ち上げは大賛成である。また、オリパラ後の公民館の機能が重要であり、国際交流の視点で上手く連携できると、新松田駅がある松田町が国際交流の面で更に発展することが期待できる。
 - 地元町民と更に検討を進めながら、実現できる方向性に進めていきたい。
- ・協議会を立ち上げるのは賛成であるが、現時点で誰が進めて行くのか、主語がないことに違和感があった。「自分達で良い場所にしていこう」という意識を各々もつことが大切だと考える。
 - 協議会等で活用方策の実現を更に詰めていきたい。
- ・最後に、協議会で議論した内容をまとめ、会長として町長へ報告したい。平成30年度から本事業を契機に松田町の賑わいづくりを作っていきたい。

以上